

10ème Anniversaire du Chœur Dimanche

クール・ディマーンシュ 10周年記念コンサート

指揮:吉野 恵美子 ピアノ:宮澤 和子・金岡 泉 ソプラノ:柴田 由香

バレエ:白鳥バレエ学園 演出振付:宮澤 光太朗 照明:株式会社トライアード



Merry Widow

F.レハール作曲「メリー・ウイドウ」ハイライト版 ほか

2008年 5月18日(日) 13:30開場 14:00開演

於:まつもと市民芸術館主ホール 入場料:2,000円

第1部 混声合唱曲「岬の墓」(曲:團伊玖磨/詩:堀田善衛)

第2部 映画音楽とミュージカルより

「星に願いを」「慕情」「学生王子のセレナーデ」「私のお気に入り」ほか

第3部 オペレッタ「メリー・ウイドウ」ハイライト版

“ヴィーリア” “シャンソン” “おんな女” “愛のワルツ”ほか

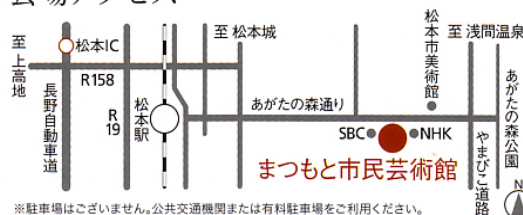


Information ご案内

チケットのお求めは…

まつもと市民芸術館	0263-33-3800
井上チケットぴあ	0263-34-3655
カタクラモール	0263-36-5111
ミュージックプラザオグチ	0263-33-5568
スワンガーデン安曇野 インフォメーションセンター	0263-71-1666

会場アクセス



※駐車場はございません。公共交通機関または有料駐車場をご利用ください。

バス: JR 松本駅お城口(東口)から100円バス、東コース・南コース「市民芸術館」下車

徒歩: JR 松本駅お城口(東口)からあがたの森通りをまっすぐ東へ800m、10分

※近隣商業施設等への無断駐車は他のお客さまのご迷惑になりますのでご注意ください。

主催:クール・ディマーンシュ(お問い合わせ 0263-86-8746 林) <http://www.geocities.jp/choeurdimanche2/index.html>

後援:JCDA日本合唱指揮者協会・松本市教育委員会・長野県合唱連盟・中信合唱連盟・信濃毎日新聞社・松本平タウン情報・市民タイムス

合唱団クール・ディマーンシュについて

団の名称は「日曜日の合唱団」という意味です。名前のとおり月2回、日曜日の夜、主に松本市のザ・ハーモニーホールを拠点として活動しています。日曜日の夜というのはその気になれば一番集まりやすい時間で、練習後はみんなスッカとして翌日からの仕事の活性化にもつながっています。1998年長野オリンピック文化プログラムとして初演されたオペラ「信濃の国・善光寺物語」に出演した中信地方の有志が集まり結成しました。現在、団員は20代～70代の40人。ジャンルを問わずレパートリーは広く、特にオペラでは日常を離れ、歌い踊り楽しんでいます。



合唱団クール・ディマーンシュ活動略歴



1998年9月 長野県松本市で発足
2001年5月 「新世紀開幕コンサート」(於 ザ・ハーモニーホール)
2003年5月 「懐かしい日本のこころと華麗なるオペラの宴」(於 長野県松本文化会館)
2003年12月 吉野恵美子指揮による5団体合同演奏会参加(於 長野県松本文化会館)
2005年2月 「星降る夜のロマンティックライブ」出演(於 レ・アール・ド・セゾン・セージ)
2005年7月 世界音楽祭in京都にて開催された長野県合唱祭に参加
2007年10月「田舎のモーツァルト音楽祭」にゲスト出演(於 安曇野市穂高東中学校)
長野県合唱祭、松本市芸術文化祭、あがたの森サタデーコンサート等、地域イベント出演多数

指揮:吉野 恵美子

松本市出身。東京学芸大学教育学部音楽科声楽専攻卒業。声楽を瀬山詠子氏に、指揮を伊藤栄一氏に師事。二期会合唱団にソプラノパートリーダーとして13年間在団中、オペラ、ミュージカルなどの各種コンサートやテレビ、レコーディングなどで演奏。退団後、各地でアマチュアコーラスの指導に当たる傍ら、サロンコンサートなどのソロ活動を行っている。1998年、長野冬季オリンピック文化プログラムのオペラ「信濃の国・善光寺物語」の合唱指導で好評を博す。2000年よりサイトウ・キネン・フェスティバル「1000人の合唱」に指導スタッフとして毎年参加。まつもと市民オペラ2005年「カルメン(ハイライト)」、2007年「こうもり」の合唱指揮者。また東京都合唱祭の講評者を務めている。現在日本合唱指揮者協会会員。



ソプラノ:柴田 由香

東京芸術大学声楽科卒業。同大学院修了。原田茂生、竹村靖子、林康子、杉江照子の諸氏に師事。高校在学中、第43回全日本学生音楽コンクール大阪大会高校の部第3位。95年東京芸術大学卒業演奏会、第65回読売新人演奏会に出演。95年度東京文化会館新進音楽家デビューコンサートオーディション合格、同演奏会に出演。第49回全日本学生音楽コンクール東京大会、大学・一般の部第2位。96年ABC新人コンサートオーディション合格、同演奏会に出演。97年ABC音楽財団にさらに選ばれ、第6回ABCフレッシュコンサートで外山雄三指揮、大阪フィルハーモニー管弦楽団と協演。東京、滋賀県にてリサイタル開催。第5回ABCフレッシュ・ガラに出演。さまざまなオペラに出演する他、モーツァルト「レクイエム」、ベートーヴェン「第九」のソリストとしても出演。



ピアノ:宮澤 和子

フェリス学院音楽科卒業。ピアノを故三宅洋一郎、岡村梨彰、辛島輝治の諸氏に、アンサンブル法を故前田幸市郎氏に師事。1972年～「期待される音楽家のタベ」シリーズでシューベルトのピアノ曲を連続演奏。1975年モーツァルトのピアノ協奏曲K.488を小松一彦指揮東京交響楽団と共演。以来、前田幸市郎の指揮により東京ソリスト、新星日本交響楽団、東京シティーフィルハーモニック交響楽団、東京交響楽団などとモーツァルトやベートーヴェンのピアノ協奏曲などで多数の演奏を行う。その他、多くの声楽家の伴奏、ジョイントコンサートなどに出演。1998年、長野冬季オリンピック文化プログラムオペラ「信濃の国・善光寺物語」でコレペティトゥアを務める。まつもと市民オペラ2007年「こうもり」のコレペティトゥアを務める。

ピアノ:金岡 泉

国立音楽大学卒業。ピアノを小林光裕、小澤英世、藤原弘江、青木資子、村田邦子の諸氏に師事。在松中SKジュニア合唱団のピアニストを務める。またSK松本合唱団ピアニストの一員として、お城deハーモニー、第1回ニューイヤーコンサートなどに携わる。2007年にはまつもと市民オペラ「こうもり」のコレペティトゥアを務める。八王子市在住。

バレエ:白鳥バレエ学園

1965年、塚田たま系により創立。日本人でなければ表現できない、しっとりとして細やかな、心に残る新しい空間美を追及し続け、古典的クラシックバレエ作品と共に郷土の民話を掘り起こした様々な作品を定期的に創作。それぞれの作品に平和と人間のやさしさを織り込み続けている。1990年に長野県文化使節団の一員として日舞、和楽器などの奏者と東欧を公演して以来、5回にわたる欧米への公演旅行を行う他、ロシアフェスティバルバレエ団の来日公演との共演も8回を数える。本部長野市。松本教室は創設20有余年。長野県下には北は飯山から南は飯田まで15の教室を持つ。



演出・振付:宮澤 光太郎

東京都出身。東京大学美学芸術学専修課程卒業。3歳よりバレエを学び松山樹子、清水哲太郎、森下洋子、塚田たま系ら諸氏に師事、10代よりバレエ作品の振付を学ぶ。松山バレエ団演出部で「新白鳥の湖」など新作の初演や「くるみ割り人形」など古典の改訂に脚本から参加。全国で年間50を越える公演のプロデュースに携わったのち独立。ラ・ヴォーチェすぎなみ「カルメン」、舞台音楽研究会「魔法の笛」、まつもと市民オペラ「カルメン(ハイライト)」「こうもり」などのオペラ公演から合唱コンサート、きものショーまで幅広く演出・振付・指導を行う。